

## 今日のみことば

### □ 7月29日(日) 歴代誌下 15章

ユダの王アザルヤは、主の目にかなうことを行つたが。「高きところ」を残したので、民は偶像礼拝を行つた。その故に一角が崩れた。信仰は常に徹底しなければならない。

### □ 7月30日(月) 歴代誌下 16章

イスラエル王国の王たちは、一人残らず不信仰者であったがユダ王国の中にも不信仰者はいた。まことの神への礼拝の仕方こそ大事である。

### □ 7月31日(火) 歴代誌下 17章

ヨシャパテは、強力な軍隊と城壁を築き上げた。彼は、民に律法を学ぶよう勧める。そして、周囲の国々から多くの尊敬を受ける。

### □ 8月1日(水) 歴代誌下 18章

ここでヨシャパテのあやまちを見せられる。神を恐れないどころか、バアル崇拝に墮したアハブと縁を結び、彼との共闘の途に出た記録がある。

### □ 8月2日(木) 歴代誌下 19章

ラモテ・ギルアテの戦いの後、ヨシャパテは国内行政に専念する。彼はさばきつかさを任命し、地方裁判所やエルサレムには民事と宗教をつかさどる控訴院を設置する。

### □ 8月3日(金) 歴代誌下 20章

ユダの神に信頼する正しさが十分に立証されている。侵略者同士が争い、ユダを強奪することをやめる。イスラエルと同盟を結んだことがヨシャパテの唯一の汚点である。

### □ 8月4日(土) 歴代誌下 21章

ユダの王マナセは、最初からヒゼキヤが成しとげたよい業を一つ残らず帳消しにして心に定めていたようで、自らわるい模範を示して、民を迷いの道に導いた。

---

ろ ぼ No. 1878  
2018年 7月29日  
日本バプテスト 立川バプテスト教会  
牧師 大川 博之

---

ロマ 5:15

しかし、恵みの賜物は罪とは比較になりません。一人の罪によって多くの人が死ぬことになったとすれば、なおさら、神の恵みと一人の人イエス・キリストの恵みの賜物とは、多くの人に豊かに注がれるのです。

「このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、死はすべての人に及んだのです。すべての人が罪を犯したからです。」とのパウロの言葉を、私たちはしっかりと聞き、受け止めさせていただき、そこに立って私たちは自分自身を見つめさせていただくところから、自分自身の歩みを始めさせていただくのです。アダムの出来事はすべての始めです。

中国の独立伝道者ジョン・サン師が伝道旅行したとき、なぜか救われる人々が起こされませんでした。彼はこのわけを色々と考えてひとつの結論に達しました。「今まで私は人々が神について、聞きたいと思っているだろうことについて語ってきた。だが、これから

は人々が靈的に益を受けることを語ろう」と。それからの彼は神ご自身のことを語ると同時に、人間を支配している罪の力について語りだしました。パウロの「義人なし、一人だになし」とのメッセージは、私たちがしっかりと聞き取らせていただかねばならない大事なことだと思っています。

最近信仰告白について学ばせていただく機会がありました立川バプテスト教会の信仰告白をご存知ですか。日本バプテスト連盟が1947年に採択した日本バプテスト連盟信仰宣言が土台となっています。日本バプテスト連盟は1979年に、時代を見据えて新しい信仰宣言を採択しました。その時の連盟総

会で議論が沸騰したのは、信仰宣言の最初の事項は「聖書の権威」か「まことの神」かということでした。今でもこの議論は私の頭な中を巡っています。私にとってこれは、いい加減に取り扱うことが出来ない大事な事となっています。私にとってキリスト信仰を語らせていただく中で、「神」「罪」「救い」は大切なパターンなのです。それはまた、「神」「人間」「キリスト」ということでもあります。このような中であって、この私は何者、との問いと向かい合わせさせていただき、そこでいただいている答えは、何者であるにしろ、神はこの私をしっかりと受け止めていてくださるということです。イエスの誕生を通して神が私たちに示された愛の行為は、ほかのどのようなものをもってしても表しうるものではありません。

最初の人アダム、主なる神との誤った向き合いが、私たちにもたらした裁きの大きさをしっかりと受け止めてくださりながら、それを越えて私たちに愛し抜いて下さる神を、私たちが知っています。

私はこれほど徹底した言葉を聞いたことがありません。イギリスの有名な説教家で会衆派の神学者フォーサイスは、救いの確実さについて「岸壁から飛び降りて自殺した人も、地獄に落ちたとは言えない。橋から飛びこんで自殺した人も、地獄へ行ったとは言えない。なぜなら、自殺することは悪い決心であったが、落ちる途中で、主の名を呼べば、ちょうど十字架上の強盗が主の名を呼んでただちに救われた(ルカ23:42-43)ように、主の名を呼べばかならず救われる。救いは、それほど絶対なのである」とのことばです。そうです。「主の名を呼ぶ者は、みな救われる」(使徒2:21)です。この福音をしっかりと受け止め、恵みにあふれさせていただきます。

次週の聖書・説教

ロマ6:1-7:6

神の賜物は

## 聖書の学び・祈祷会

創世記21:9-21 神は子どもの泣き声を聞かれた

サラの「あの女とあの子を出してください」との願いはことのほかアブラハムを苦しめました。イシュマエルの誕生はサラの願いによるものでした。神さまの約束の遅延で、人間の本当に浅はかな行動によって起こされた出来事は、私たちに様々な問題を突きつけてきます。それは今日の私たちに突きつけられている大きな課題であるはずですが、神はこの私たちの愚かな行為をもしっかり受け止めていてくださることを心に留めさせていただきますかねばなりません。

アブラハムは、ハガイとその息子にパンと水の革袋と与えただけで去らせました。神は人間の愚かの行為のしりぬぐいされました。神は「あの女の息子も一つの国民の父とする。彼もあなたの子であるのだから」と言われます。私たちはこの事実をしっかりと受け止めることが出来るものでなければなりません。しっかりと神を見つめさせていただきますかねばなりません。



Read God's Word.